



# 社協だより

— 安心して暮らせる福祉のまちづくり —

2025年

3月

No.324

フォローアップ講座  
色んな場所で活用して



## 3月の社協だより

今月号の表紙は「地域サロン応援隊養成講座フォローアップ」です。過去に講座を受講された第1期から第4期生を対象に行いました。他にも当協議会が行った事業で「認知症事業」や「ボランティア活動保険」を紹介しています。また、社協情報には3月の相談日やお知らせ等をご紹介します。

## もくじ

- P2 地域サロン／地域福祉課  
福祉座談会／在宅福祉課
- P3 認知症事業／地域福祉課  
高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P4 共同募金運動／在宅福祉課  
ボランティア活動保険／地域福祉課
- P5 社協情報／もの忘れ相談室、地域づくりセミナー など
- P6 地域サロン／飯田、市ノ後団地  
地域を支えるふくしの輪／心配ごと相談員研修会

# 地域サロン

## 地域福祉課

### Let's みんなで楽しく復習&研修

1月29日(水)に保健福祉センター多目的室で開催し、地域サロン応援隊養成講座を受講された第一期生から第4期生の29名が参加されました。

今回は、熊本県レクリエーション協会の上野祥子会長を講師に迎え、サロンで活用できる道具の使い方、進め方や声かけの方法について実践を交えながらお話していただきました。参加者から「久々に会えて情報交換できた」「今日習った内容はサロンだけでなく、子どもも楽しめる内容。多世代交流にもなるので、様々な面で役に立ってたい」などの声が聞かれました。また、上野会長は「レクリエーションは多種多様。1つのレクリエーションを工夫してみることで、新たな方法が生まれ広がります。大切なのは継続し、やり抜くことです」と語られました。

現在、地域サロンをサポートする人が少なくなっている中、この講座をとおして見守りや集いの場が継続していけたらと思います。



「応援隊養成講座でたくさん学んだのでサロンで伝えていきます」と参加者の古閑森さん



今回参加された協力員の皆さん

# 福祉座談会

## 在宅福祉課

### 広崎4町内、平田上、本土山で開催

広崎4町内福祉座談会(1月9日)

740世帯、58組、約1800名と町内では最も多くの住民がいる地区です。高齢者も多く見守り体制や状況把握も苦慮されています。しかし区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員が協力し、見守り活動に対する意識が高い地域であると感じました。

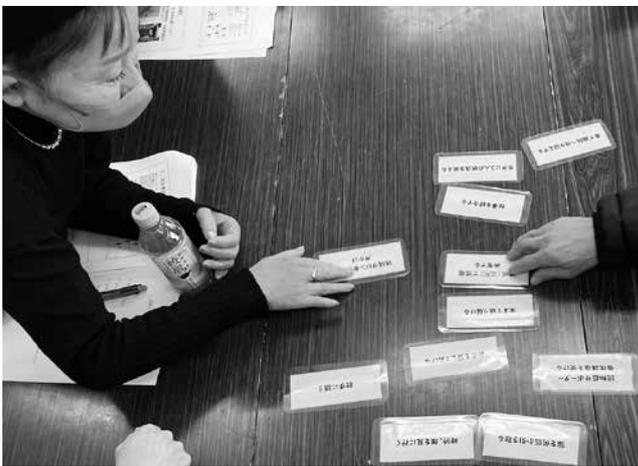
平田上福祉座談会(1月23日)

35世帯の地区で、民生児童委員と高齢者相談・地域福祉委員は柳水・平田上・平田中の3地区を担当されています。

当され、地域や住民の状況をよく把握されており、この座談会がよい情報共有の場となりました。

本土山福祉座談会(1月28日)

53世帯の地区で、地域の行事などは役回りを決めて運営しているとのことでした。事例検討では、地域の状況に当てはめながら考察が行われ、この座談会を通じて区長、民生児童委員、高齢者相談・地域福祉委員が本土山地区の情報を共有する良い機会になったと話されています。



カードを選んで事例検討中の参加者(広崎4町内)



「座談会を終えてホッとしました」と皆さん(本土山)

## 会員紹介 ～タスキ～

No.53

氏名／長尾孝さん  
所属／一般作業2班



## 高年齢者の生きがいづくり シルバー人材センター

## 認知症の正しい知識 広がっています

今回は飯野小学校で5年生、6年生、また復興まちづくりセンターにじいろでは町民向けの認知症サポーター養成講座を行いました。

町民向け講座は、1月8日(水)の認知症カフェ(花カフェ)と同時開催で行いました。認知症は65歳以上の5人に一人の割合で発症し、大変身近な問題になって

## 認知症事業

### 地域福祉課

います。講座では、お茶を楽しみながら、認知症の予防や早期治療、また地域でできる見守りなどについて話をさせていただきました。

また、飯野小学校の講座の際は、講師役となる地域の介護サービス事業所と一緒に、認知症とはどういう病気なのか子ども目線の動画などを用いながら説明しました。

参加した児童からは、「認知症って怖い病気じゃなくて、周りの支えがあると今まで通り生活できるんだと思った」との感想をいただきました。

### 会員登録のきっかけ

現役を退いてからも、まだ働けるといふ気持ちが強くて、体を動かすことが好きなので、シルバー人材センターなら体を動かしながら自分のペースで働けるし、仲間もでき、健康維持にもなるので、最適だなと思って登録しました。

### 活動をとおして思うこと

除草後のすっきりした庭を眺めた時の達成感、そして依頼者様からいただく感謝の言葉が、とても幸せな気持ちになります。働くことで地域の人たちとも交流できるのも魅力です。また、体を動かす

### 趣味

ことで健康を維持できるのも、大きなやりがいになっています。

週1〜2回、シニアサッカークラブでプレーしており、体力には自信があります。

### 登録を考えている方へ

「まだ働けるかな？」と迷っている人もいるかもしれませんが、自分のペースでできる仕事がたくさんあります。何より、新しい仲間ができるのが楽しいですよ。興味があれば、ぜひ一歩踏み出してみてください。



町民向け講座では、30年間介護をされた思いを軸丸さんに話していただきました



シニアサッカークラブで活躍する長尾さん



飯野小でも分かりやすく話して下さった富田さん

## 1月28日時点の実績を報告します

先月号（社協だより2月号）でご紹介しましたが、追加がありましたので改めて報告いたします。

集まりました共同募金は、全額熊本県共同募金会へ送金しており、来年度の事業に活用されます。皆様方から集められた募金が、益城町の地域福祉推進のための貴重な財源となっております。ご協力ありがとうございます。

### 赤い羽根共同募金（R7.1.28時点）

種別	金額
戸別募金	3,289,500円
法人募金	681,524円
職域募金	169,155円
ワッペン募金	79,401円
その他募金	279,817円
小計	4,499,397円

### 歳末たすけあい募金（R7.1.28時点）

種別	金額
戸別募金	2,268,636円
竹筒募金	240,401円
その他募金	1円
小計	2,509,038円

合計	7,008,435円
----	------------



### 法人募金協力企業等紹介（順不同、敬称略）

広安西校区	(有)坂口ハウジング 熊本産業文化振興(株) さくら病院(株)出田建築工房
広安校区	井関農機(株)
木山校区	ONEライフスター(株)
福田校区	(株)三和 (有)西嶋工務店
津森校区	(株)テクノ・ラボラトリ 熊本ソフトウェア(株)

## ボランティア活動保険

### 地域福祉課

更新される場合は忘れずに

ボランティア活動保険とは、ボランティア活動中の様々な事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償する保険です。

対象となるボランティア活動

無償で、日本国内において、自発的な意思で他人や社会に貢献することを目的として行う活動が対象となります。

補償期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※途中加入の場合も、令和8年3月31日までの補償期間となります。

申し込み方法

当協議会事務所までご来所の上、書類の記入と保険料の支払いをお願いします。団体で加入される場合は名簿をご持参ください。※ご不明な点は気軽にお問い合わせください。

問/地域福祉課

☎096-214-5566

補償プラン		基本プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
	特定感染症	補償開始日から補償	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	
	年間保険料	350円	

補償プラン		天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
	特定感染症	補償開始日から補償	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	
	年間保険料	500円	

# 社協情報

当協議会でやっているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

## ◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決を一緒に考え、医療機関や介護サービス等必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／3月18日(火)

- ① 13時30分から
- ② 14時30分から
- ③ 15時30分から

場所／役場1階相談室

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◇第3回地域づくりセミナー

スマホを使って体験講座

基本的な使い方 インターネット、QRコードを使ってみよう

日時／3月19日(水)・3月27日(木)

両日とも13時30分から15時30分

※両日参加できる方、スマホ(アンドロイド端末)持参でご参加ください。

場所／保健福祉センター多目的室

締切／3月12日(水)

参加無料。両日参加できる方で町内在住の方で先着25名までです。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◇いきぬこ会

ご自宅で介護されている家族の方が、普段の介護の中での思いやちよつとした相談などをお話しできる場として2か月に1回開催しています。

日時／3月12日(水) 13時30分から

場所／復興まちづくりセンターにじいろ

(住所／益城町宮園702)

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◇コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

コミュニティソーシャルワーカーとは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決を目指す地域の身近な相談員です。

## ◇心配ごと相談

日常生活のちよつとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所(益城町宮園702)

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

日程	専門相談員	相談員	
3月5日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	齊藤幸子 (民生児童委員)	
3月12日(水)	松尾英美 (司法書士)	本田龍子 (人権擁護委員)	富田幸子 (民生児童委員)
3月19日(水)	松尾 一 (行政書士)	藤岡卓雄 (人権擁護委員)	嶋田幸代 (民生児童委員)
3月26日(水)	松尾英美 (司法書士)		森田恭子 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

# 地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ地域の人たちが楽しく集まる空間づくりが盛んに行われています。また介護予防の取り組みや閉じこもりの防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動などを行っています。

## 飯田山会



みんなでハイチーズ「ピース」

平成19年11月から始まった飯田山会は、区長を中心に、近所の子どもたちを交えた交流やボランティアからの協力など、工夫を凝らしながら活動を続けています。

開催日／毎月第3木曜日

時間／10時から

場所／飯田公民館



身長より高く積み上がりました

## 市ノ後団地遊望会



皆でダンス!! いい汗かきました

平成20年7月から始まった遊望会は、毎回約20名が参加されています。音楽に合わせてオリジナルの振り付けを作成するなど、皆さんで毎回楽しく盛り上がっています。

開催日／毎月第4金曜日

時間／9時30分から

場所／市ノ後団地公民館



素敵な衣装を着てノリノリです

## 地域を支えるふくしの輪

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」

### 心配ごと相談員研修会

1月30日(木)に開催し、毎週水曜日の心配ごと相談に協力いただいている行政書士、人権擁護委員、民生児童委員から48名が参加されました。当日は、宮田総合法律事務所の森枝大輔弁護士を講師に招き「詐欺被害について」の講話をいただきました。最近話題の投資詐欺やロマンス詐欺について被害件数や被害に遭いやすい年齢層、オンライン詐欺で使用される接触ツール等を説明されました。また、相談を受けた際の対処法や相談先についても具体的なアドバイスをいただき、今後の見守り支援に役立つ貴重な機会となりました。



講師の森枝大輔弁護士

2025年

3月

No.324

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470  
益城町保健福祉センター「はびねす」内  
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567  
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

